

編集後記

5月号は「コンクリート」特集ということで、目的により様々な機能を要求されるコンクリート構造物の品質を確実に確保するための施工方法・施工機械等について、骨材生産プラント、コンクリート製造プラント、配合、運搬、打設、型枠、養生、検査、品質管理手法など、様々な視点から最近の施工事例及び研究事例を紹介させていただきました。

巻頭言には、小澤満津雄先生に「コンクリートに愛情を」というテーマで執筆いただきました。この中にあるように、現在の政権与党民主党は「コンクリートから人へ」というキャッチコピーを掲げスタートし、大規模公共工事の事業見直しにより、施工が停止となった構築中のコンクリート構造物の映像が連日マスコミに取り上げられたことは記憶に新しい所です。

そもそもコンクリートは、強度と価格の面や施工の安易さから、一般に最も広範に使用されている建築資

材の一つであり、建築物、道路、ダム、高架橋、トンネル、港湾設備と用途は幅広く古くから用いられているもので、我々の生活になくならないものです。

このように我々の生活に古くから密着し歴史のあるコンクリートですが、今の時代に対応し、各工程において日々様々な研究がなされ、高い品質を確保することはもちろん、環境に優しく、低コストなものが探求されていることを、今回編集委員として担当させていただき改めて実感しました。

新規構造物はもちろん、高度経済成長期に大量に建設された構造物の更新など、これからもこれら最新の技術が活躍する場が増えることは間違いありません。

年度末のお忙しい時期にお願いしたにもかかわらず、執筆者の方々には快く原稿執筆を引き受けていただき非常に感謝しております。誌面をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。

(石戸谷・中村)

6月号「建設施工の環境対策」予告

- ・ディーゼル特定特殊自動車の排出ガス規制の強化
- 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則」等の一部改正
- ・排出ガス対策型建設機械指定制度と直轄工事における燃料対策
- ・エレベーターシャフトのアスベスト除去システム「エレベスタカット工法」
- 専用仮設ゴンドラと自動負圧制御装置の開発
- ・砂圧入式静的締固め工法 SAVE-SP (Silent, Advanced Vibration-Erasing - Sand Press) 工法
- ・ANCを用いた建設機械騒音の低減 TANC (タンク)
- ・大夕張トンネルにおける換気計画 2重エアーカーテン装置による集塵効率の向上
- ・高濃度ダイオキシン類汚染物(廃棄物・土壌)の現地無害化処理
- ・PCB汚染土壌の拠点浄化施設「ジオスチーム法」での汚染土壌処理
- ・CSG工法による環境負荷の低減と自走式土質改良機の適用
- ・自走式土質改良機
- ・環境負荷低減を目指した油圧ショベルの開発

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (株)東京建設コンサルタント

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
高木 幸雄	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
鎌田 裕一	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

No.723「建設の施工企画」 2010年5月号

[定価] 1部840円(本体800円)

年間購読料9,000円

平成22年5月20日印刷

平成22年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322